

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	名古屋大学	整理番号	1-3-042
応募テーマ	主として教育方法の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	教員の自発的な授業改善の促進・支援 －授業支援ツールを活用した授業デザイン力の形成－		
申請単位	大学全体		
申請担当者	黒田 光太郎		
<p>(取組の概要)</p> <p>本取組は、教員の自発的な授業改善の促進・支援を目的に、授業改善のための方法論を開発し、その具体的な実践手段を個々の教員に提供する活動である。</p> <p>授業改善のキー概念として本取組が重視する授業デザイン力は、授業を成功に導くための設計・戦略であり、シラバス設計、各種教授法、成績評価等のスキルからなる。とりわけ重要なシラバス設計スキルとは授業目標、授業計画、授業時間内外の課題を設定する能力である。一連のスキルの総体＝授業デザイン力の形成を通じて授業改善の実現をめざす。</p> <p>授業デザイン力形成の中心手段である『成長するティップス先生』は、授業改善のヒント・ノウハウを提供する。その応用編であるゴーイングシラバス（ウェブ上でシラバス作成を行い、併せてその作成能力の習得・向上を図る）や全学的FD研修（授業改善ノウハウの伝達等）とともに、教員が自発的にかつ無理なく授業改善を行えるよう支援している。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、平成10年4月から名古屋大学が高等教育研究センターを中心として教員の自発的な授業改善の促進・支援を行うことを目的に授業支援ツールを開発し、極めて具体的な実践手段を教員に提供するというものです。具体的には、FDに戸惑う教員のために授業改善のノウハウやヒントをわかり易く表現した『成長するティップス先生』の制作、ウェブ上のシラバス「ゴーイングシラバス」の開発に成功し、現在教育の質の向上とFD活動の推進に一定の成果を上げています。学生の授業評価を通じて、その効果は見て取ることが出来ます。</p> <p>本取組は、全国的に注目され、『成長するティップス先生』8,000部（ウェブ版アクセス月2万件）、多数の学外からの講演の依頼などからも、他大学や短期大学の参考になり得る優れた事例であるといえます。</p> <p>今後の課題は、学内における取組の拡大、学生の成績向上の検証、『ティップス先生』と「ゴーイングシラバス」の見直し、ツールの改善等に一層の努力と工夫を重ねられることにあると思います。</p>			